

# 報 廣 しばた

since 1961

2015  
JAN

No. 639



## 『幸』多き一年に

おいしくなるように願いを込めて育てた野菜が、地域や家庭で受け継がれてきた味付けでいっそう旨みを増す。家族や親戚が集まって、おふくろの味に舌鼓。毎年変わらない郷土料理で新年を迎えられる幸せは、作物の豊作と元気でいられた証し。今年も幸多き一年でありますように。

写真／上川名地区農村レストラン「縄文の幸」の郷土料理 左から大沼八重子さん、大沼貞子さん、平間つや子さん

※上川名地区は、昨年11月、平成26年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、東北農政局長賞を受賞。



2015年  
新年のごあいさつ

# フットパスを通じて 元気なまちを 創生します

～地域の魅力を生かしたまちづくり～



柴田町長 滝口 茂

今年からいよいよ国が支援する地方創生が動き出します。アベノミクスの経済効果がなかなか地方に及ばない中で、地方への新たなテコ入れ策として実施されます。

地方創生は、人口減少時代や高齢化社会への対応、東京一極集中の是正を図るために、魅力あふれる地方を全国津々浦々に創生し、地方へ人の流れを加速させ、活性化を図ろうとするものです。

国は、これまでも国土の均衡ある発展を目指して、1億円を各自治体に交付したふるさと創生事業や高度技術集積都市を目指したテクノポリス法、ふるさとの自然を活用したリゾート開発などに取り組んできました。こうした施策により都市と地方との格差が縮まり、一時期、「地方の時代の到来」ともはやされたときもありました。しかし、バブル崩壊後の失われた20年

間においては、再び都市と地方の格差が拡大するようになってきました。

特にショッキングだったのは、日本創成会議の人口減少問題検討分科会が公表した2040年の人口推計

結果です。このまま人口減少問題に何も手を打たなければ、2040年には、896の自治体が消滅可能性都市になるという内容でした。また、国土交通省の試算では、2010年に1億2,800万人だった日本の総人口は、2050年には約9,700万人余りとなる結果もでています。幸い柴田町は、消滅の可能性がある自治体には入りませんでした。明日は我が身にならないようにしていかなければならないと考えています。

今後ますます加速する人口減少が私たちのまちや暮らしにどのような影響を及ぼしてくるのか。人口減少時代をどのように受け止め、

今後の柴田町を持続的に発展させていったらよいのか。まずは町民の皆さまとの間で共通認識を持つことが大切ではないかと考えています。

私は、2008年をピークに日本の総人口が減ってきたことを踏まえれば、地方における人口減少はもはや不可避なものと受け止め、その流れを前提にした上で、新たな価値観や発想のもとに、独自のまちづくりや地域づくりを進めていく必要があると考えています。

その道筋を示したのが、第5次柴田町総合計画後期基本計画です。現在、平成27年度から平成30年度までの4年間に実施すべき政策や事業を盛り込んだ計画づくりを進めています。計画では、柴田町を持続的に発展させていくため、内外から多くの人を呼び込み、にぎわいを生み出す元気なまちづくりを基本目標に掲げました。実行に移すにあ



宮城県指定史跡  
富沢磨崖仏群（富沢）



上：白石川堤の桜並木（船岡）  
下：田園風景（槻木）



国指定天然記念物  
雨乞のイチヨウ  
（入間田）

たつては、地域に根ざした活性化策を住民と一緒に考え、持続可能な元気な町を自分たちの力でつくりといたった気概を持って取り組みたいと思います。これまでの中央依存や他力本願から抜け出し、地域の自立、自主的なまちづくりへと、まちの体質を転換していくことで、人口減少という危機を乗り越えていきたいと思えます。

### 新たな地域の魅力の創造

その具体的な手法としてフットパスによる「元気なまち創造プロジェクト」を重点プロジェクトとして位置づけました。フットパスとは、イギリスが発祥地で、ありのままの風景を楽しみながら歩く小径こみちとされています。最近、日本でもフットパスへの関心が高まり、イギリスとは違った日本型のフットパスが各地で育っています。イギリスのように、ただ歩いて楽しむだけ

の道づくりではなく、フットパスの活用を通じて新たな地域の魅力の創造を地域の人たちと行政とが一体となって進めようとするものです。先人たちが残してくれた自然景観や田園風景、歴史や文化などの地域資源を有効に活用しながら、点在していた交流スポットを線で有機的につなぎ、さらに面的に広げた中で、歩いて楽しいフットパスコースを整備して参ります。

今後、フットパスを推進することで、町内での回遊性が高まり、同時に多彩な観光イベントを通じて多くの人を呼び込み、さらに、農商工連携による特産品やお土産の開発、郷土食などの提供によって新たな仕事づくりに結びつけたいと思っています。まさに、フットパスによる「元気なまち創造プロジェクト」は、新たな地域ビジネスの創出までを見据えた計画でもあります。

フットパスの具体的なルートとしては、

① 船岡駅から白石川堤を歩き、今年3月29日に開通する（仮称）さくら連絡橋を経て、船岡城址公園に至る花巡りルート

② 槻木駅から阿武隈川の小山の渡し、四日市場の山神社、貝塚、そして上川名集落、里山ハイキングコースに至るルート

③ 歴史・史跡めぐりコースなどを想定し、順次整備していく計画です。

フットパスは、子どもから高齢者の人たちまでが、自然やまちなかを楽しみながら歩くことで、健康寿命の延伸やストレスの解消にも有効であり、また、学校の授業や地域の行事にもつながっていくことで、自分の住んでいる地域の魅力に気づき、それを次世代に引き継ぎつかけにもなると考えています。

このことから、フットパスは、成熟化時代における



平成 28 年 3 月完成予定の北船岡町営住宅 3 号棟（7 階建て）完成イメージ図



約 12,000 人が訪れた第 1 回しばた紫陽花まつり（船岡城址公園）

新たな観光スタイルの提唱と住民の生涯学習の機能を併せ持つ、新たなまちづくりの有効な手段ではないかと思えます。

### 子育て支援・教育の充実

喫緊の課題として取り組まなければならないのが、子育て・子育て支援です。今年 4 月から、国の子ども子育て支援新制度がスタートします。この制度を活用し、3 歳未満の子どもたちを保育する小規模保育（定員 19 人以下）を 3 事業者にお願いし、待機児童の解消に努めます。

また、子どもたちにとって快適で楽しい学校となるよう、槻木小学校のプールを完成させるとともに、平成 27 年度は新たに船迫小学校のプールの建設や船岡小学校の大規模改修に向けた実施設計に取り組みます。

### 安心して暮らせるまちづくり

高齢化社会の進展に伴う不安の解消に取り組みます。柴田町においても 4 人に 1 人が高齢者となり、一人暮らしによる孤独感や孤立感が加齢に対する不安を抱く方が多くなっています。住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするために、船岡駅前地域包括支援センターを増設し、新たに介護や健康などについて総合的に相談できる体制を強化します。また、仙南地域における平日夜間の初期救急医療体制の整備を図るため、仙南夜間初期急患センターが、みやぎ県南中核病院の敷地の一角で 3 月から診療を開始し、いざという時に備えたいと思えます。

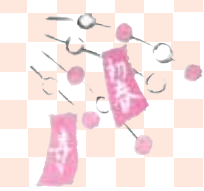
### 安全で快適な環境づくり

生活環境の整備についてですが、まず取り組むのが大雨やゲリラ豪雨などによる水害・冠水対策です。昨

年に引き続き、船岡西、船岡南、槻木地区の冠水対策工事を行うほか、鷺沼排水区雨水整備事業については、調整池の建設に着手します。良質な住宅を提供するため、北船岡町営住宅 3 号棟の建設を進めるとともに、最近目立つようになってきた空き地や空き家を適正に管理していただくために、「空き家等対策条例」策定に向けた取り組みをスタートさせます。将来に向けた都市の発展を見据えては、都市の標準装備とされる総合体育館建設に向けて、体育館の規模を決定するための選定会議を設置します。

### みんなでつくるまち

昨年は新たなイベントとして「みちのく招福まつり in しばた」や「しばた紫陽花まつり」が行政との協働のもとに開かれました。さらに住民主導による「しばた匠まつり」や「しばた B 級グルメフェスティバル」



約 5,500 人が集まったしばたB級グルメフェスティバル  
(船岡城址公園)



商工会女性部が主催した第1回みちのく招福まつり in しばた  
(槻木生涯学習センター)

### 今年、完成・継続および新規に着手する主な事業

#### ■完成する主なもの

- 槻木小学校プール改築工事 (平成 27 年 3 月)
- (仮称) 里山ガーデンハウス新築工事 (平成 27 年 3 月)
- 槻木保育所ゆとり保育室増築工事 (平成 27 年 3 月)

#### ■継続中のもの

- 町道富沢 16 号線の整備 (平成 22 年～)
- (仮称) さくら連絡橋の整備 (平成 25 年～平成 28 年)
- 白石川堤外地環境整備 (平成 25 年～平成 28 年)
- 北船岡町営住宅 3 号棟新築工事 (平成 26 年～平成 28 年)
- 再生可能エネルギー等導入補助金事業 (平成 26 年～平成 28 年)  
(防災拠点となる避難所などへ太陽光発電設備を設置)
- 鷺沼排水区雨水対策事業 (平成 24 年～)
- 槻木地区雨水対策事業 (平成 26 年～平成 28 年)
- ほ場整備事業 (平成 26 年～)
- 集落営農水田担い手対策事業 (平成 23 年～)
- 農林作物鳥獣被害防止対策事業 (平成 25 年～)
- しばた健康づくりポイント事業 (平成 26 年～)
- しばた 100 選の選定 (平成 25 年～平成 27 年)

#### ■新規に着手する主なもの (予定)

- 柴田さくらマラソン開催支援
- まちづくり推進センター管理運営業務委託の準備
- フットパスによる元気なまちづくりの推進 (推進会議の設置)
- 船迫小学校区、柴田小学校区の防犯灯の一部を LED 化
- 地域おこし協力隊の導入の準備
- 船岡駅前に地域包括支援センターを開所
- 小規模保育事業、槻木保育所ゆとり保育を開始
- 船迫小学校プール改築工事
- 船岡小学校大規模改造工事実施設計
- 総合型地域スポーツクラブ運営開始
- 総合体育館規模決定
- 空き家等対策条例策定の準備
- 平日夜間初期救急医療開始

も盛会裏に終わりました。  
このように、自分たちの  
まちは、自分たちの手で楽  
しく盛り上げていこうとい  
う気運が高まってきました  
を大変喜んでいきます。今  
年はさらに、槻木地区を舞  
台に「柴田さくらマラソン」  
がハーフの距離で復活する  
ことになりました。ますま  
す柴田町の勢いが加速する

ものと期待をしています。  
ろです。  
こうしたイベントなどの  
成功が、まちづくりへの自  
信となり、地域住民のまち  
づくりへの意識の変容を促  
し、人口減少社会の中に  
あっても元氣な柴田町がつ  
くられるものと思います。  
今年さらさら、内外に柴田  
町の魅力をアピールし、集

客力の向上に努めて参りま  
す。また、来年は、町制施  
行 60 周年の節目の年でもあ  
りますので、それに向けた  
記念事業なども怠りなく準  
備を進めて参ります。  
町民の皆さま、今年一年  
なにとぞよろしくお願い申  
し上げします。

# 年のはじまりです

抱負を語っていただきました。



白石工業高校1年生  
佐藤 佑哉さん  
(船岡地区・16歳)

白石工業高校のバスケットボール部に入っています。朝練習ではじまり、夜も遅くまで練習しています。部活の厳しさはハンパじゃないけど、走る速さと体力には自信があります。今年もがんばって、点を取れるシューティングガードになりたいです。

長女の結花ちゃんと沙耶さん



子育てサークル  
ちょうちょ 代表  
堀米 沙耶さん  
(西住地区・31歳)

子育てサークル「ちょうちょ」は、西住地区で活動しています。西住地区は、地域の繋がりが強いので、新しい仲間づくりを積極的に進めています。今年は昨年以上にサークル活動を盛り上げ、充実させたいです。

また、3歳になる長女の結花は、踊ることが大好きです。4月からは、熊野幼稚園に入園するので、友達をたくさんつくって、楽しい幼稚園生活を送ってほしいです。



槻木中学校2年生  
小原 ひなたさん  
(槻木地区・14歳)

“Evolution～進化～  
—新たな飛躍を求めて—”をスローガンとしている槻木中学校は、今の校風を残しつつ、新しいことにも積極的に取り組み、学年に関係なくみんな仲が良いのが特徴です。

私は、生徒会執行部の副会長を務めていますが、今年は3年生になるので、自覚を持ってしっかり運営し、学校をもっと良くしていきたいです。

また、将来は英語に関わる仕事に就きたいので、英語の勉強もがんばりたいです。



農産物直売所  
「結友」「ふうど」会員  
村上 みよ子さん  
(入間田地区・73歳)

65歳までの約40年間、酪農をしていました。酪農は辞めてしまいましたが、健康のために野菜作りをがんばっています。本を読むことが好きで、園芸の本をよく読みます。たくさん野菜を作るよりも、おいしい野菜を作りたいので勉強になります。今年も、農産物直売所の「結友」や「ふうど」においしい野菜をお届けしたいと思っています。



第17B区こども見守り隊  
鈴木 隆さん  
(槻木地区・75歳)

地域の子どもたちを交通事故や犯罪から守るため活動していますが、今では子どもたちや近所の方々との会話が一つの楽しみとなっています。新学期に向けて、もう少し隊員を増やしたいです。

また、ボランティアグループ「さくらの手」で、ケアホームなどを訪問し、民謡やカラオケなどの活動をしています。

今年も自分の身体と相談しながら、健康のため、地域のために活動を続けていきたいです。

# 2015年 新しい

10人のみなさんに新年の

柴田消防署に勤務しています。昨年は、各地区で皆さんが行う防災訓練に参加しました。今年も多くの方に参加いただき、災害時にどのように対処すればよいか、その知識と技術を習得していただくよう、訓練の時にはご指導させていただきます。火災や事故発生時、私たちが到着するまで怖いと思いますが、落ち着いて、

勇気を持って対応してください。私は、1秒でも早く現場に駆けつけます。

柴田消防署

いさざわ よしかず  
砂澤 義和さん  
(西住地区・39歳)



空手を習っていて、4月に東京で空手の全国大会に出るので、優勝したいです。優勝したら、ディズニーランドに連れてってほしいです。

算数と体育が好きなので、かけ算となわとびを100回とべるようにがんばりたいです。

東船岡小学校1年生

みやぎ めぐみ  
宮城 愛美さん  
(東船岡地区・6歳)



愛美さん(右)と妹の智実ちゃん(4歳)(左)

北船岡町営住宅2号棟の自治会活動をしています。ごみの出し方や一斉清掃への参加など住民の皆さんはとても協力的で、すごく助かっています。今年、3号棟の建設が始まります。3号棟自治会の模範となるよう、がんばっていきたいです。そして、町内会はもちろんですが、1号棟から3号棟を交え、仲良く自治会活動をしていきたいです。

また、家族みんな健康で元気に過ごしていきたいです。

北船岡町営住宅2号棟自治会 会長

とみた さえこ  
富田 佐恵子さん(北船岡地区・72歳)



住宅の新築工事や耐震工事、リフォーム工事などを手掛け、16年目になります。継続は力なりをモットーに、今年もお客様のためにいろいろなお提案はもちろん、心から喜んでいただける仕事の完成を目指し、お客様との繋がりを大切にしていきたいです。

これからも身体に気をつけ、仕事に邁進していきたいです。

有限会社アート工業  
代表取締役

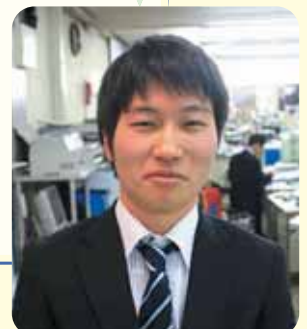
たかはし もりつぐ  
高橋 盛次さん  
(西船迫地区・60歳)



役場の健康推進課で、子ども医療費助成事務や国民年金の手続き業務に携わり、今年で3年目になります。法改正など新しい情報を常に確認し、間違いのない仕事を心がけ、お客様の手助けをしていきたいです。そして、町民の皆さまが安心して暮らせる町を目指し、今年も精一杯努力します。

柴田町役場健康推進課

どもん りょう  
土門 涼さん  
(船岡地区・23歳)



# 2014 冬のしばたを輝かせた 夢と希望のイルミネーション



町のあちこちで輝いたイルミネーション。  
わたしたちを魅了し、楽しませてくれます。  
各家庭でもイルミネーションがきれいに飾り付けられ、  
地域の癒しの空間をつくっていました。

(船岡駅)



2



1



4



3

1 はなみちゃんもよさこいを踊りました 2 柴田よさこい美翔連  
3 冬花火もあがりました 4 船岡さくら太鼓の演奏



# 光り輝けしばたのイルミネーション2014

期間／12月6日(土)～12月28日(日)

場所／船岡駅前・船岡城址公園



2014年の光り文字は「生きる力」(白石川左岸)

商店街のにぎわいを取り戻したい。寒い冬の間、駅を利用するたびに、明るい駅前を見ていただき、少しでも気持ち温かくなってほしいという思いで活動しています。柴田ライオンズクラブや各企業、商店街などの協力をいただきながら、13回目の開催となりました。今回は、船岡駅の屋根のイルミネーションが全て新しくなりました。今後もイルミネーションの数を増やし、駅前広場から商店街まで、みんながイルミネーションを飾り、みんなで盛り上げ、明るく楽しい元気な船岡地区をつくっていきます。

光り輝けしばたのイルミネーション  
実行委員会 委員長

舟山 清一郎さん



# メタセコイアの奇跡！光り輝け槻木駅 2014

期間／12月6日(土)～1月10日(土)

場所／槻木駅前



- 1 イルミネーション点灯式
- 2 ジャンケンに勝つとサンタさんからお菓子のプレゼント
- 3 ゴールデンシャワーアナシスターズのダンス
- 4 奥州柴田一番太鼓の演奏



地域に住む将来を担う子どもたちに夢を与え、住みやすいまちづくりを目指して、みんなで協力しながら手作りで実施しています。毎年多くの企業・団体・地域の方々から募金をいただき、今年で10周年を迎えることができました。年々知名度が上がり、来場者は増え続けています。今年はスタップ用のジャンパーを作り、一目でスタップとわかるように工夫をしました。イベントは長続きしないと意味がないと思います。今後も槻木地区の発展のため子どもたちのためにイベントを続けていきます。

「メタセコイアの奇跡！光り輝け槻木駅」  
実行委員会 委員長  
平間 勲さん



# とみざわ希望の光 イルミネーション

期間／11月29日(土)～1月9日(金)  
場所／富沢集会所



田園に浮かぶイルミネーション

「富沢だつてやればできる、富沢だからこそできる、若い人だつて集まればできる」こんな思いがきっかけでした。富沢の未来の光である子どもたちに楽しんでもらい、自慢できる富沢のイルミネーションを目指し、地域の方々募金と応援をいただきながら、第1回目を実施することができました。各地でイルミネーションが行われていますが、高齢などのため、見に行きたくても行けない人がいます。そのため、みんなに見てもらえるように富沢地区の中心に位置する集会所を会場としました。これからも、富沢地区が明るく元気になるように、さまざまなイベントを企画していきますので、楽しみにしててください。



とみざわ希望の光イルミネーション  
実行委員会 代表

山下 利一さん

# 上川名地区の イルミネーション



期間／12月13日(土)～1月10日(土)  
場所／上川名貝塚・火の見櫓

高さ約12mの火の見櫓に飾られたイルミネーション

上川名地区活性化推進組合  
上川名貝塚と火の見櫓を中心に、人々が集まる公園のような場所を目指し取り組んでいます。オレンジ色に彩られた火の見櫓は、高い場所の先端に位置し、上川名のランドマークとなっています。イルミネーションは、上川名地区のみんなが協力して飾り付け、今回で4年目の取り組みとなりました。また、ホテルが舞う6月中旬から下旬にもイルミネーションを点灯しています。これからはしっかりと上川名地区をPRし、上川名を活性化させていきます。



上川名地区活性化  
推進組合

平間 幸弘さん

# 宮城県指定有形文化財

御開帳

1月16日(金)

午後1時～3時  
大光院(西船迫)

において一般公開



胎蔵界曼荼羅図 (縦約175cm × 横約129cm)

## 仏教の神秘 「曼荼羅」

この絵図は「金剛界曼荼羅図」と「胎蔵界曼荼羅図」の二幅で、至徳二年表具(至徳二年・1385年)と裏書きがあることから、今から約600年以上も前に描かれたものです。大きな絹地に、数多くの仏の像が色彩豊かに描かれ、その配置は幾何学的で、見る人を神秘の世界へと誘います。時々、町内外から「この曼荼羅が見たい」と、役場に問い合わせの電話がありますが、この曼荼羅を見ることができるのは、毎年1月16日と8月16日の年に2回と決められています。大光院の芳賀隆範住職は「当大光院が保存する曼荼羅を、ぜひご覧いただき、文化財に親しんでください」と話されます。みなさんもお覧になつてはいかがでしょうか。

ケンポンチヤクシヨクリヨウカイマンダラス

# 『絹本着色両界曼荼羅図』

大光院所蔵



金剛界曼荼羅図 (縦約158cm × 横約130cm)

**マナーを守って鑑賞しましょう。**  
 公開日時／1月16日(金)  
 午後1時～午後3時  
 入場無料  
 曼荼羅に触れることはできません

〜室町時代マンダラとの出会い〜  
 全国の4万人が住む規模の市や町の中で、柴田町ほどに文化財が「偏在」している町は、珍しいかもしれません。槻木中学校区に、縄文・弥生遺跡などと鎌倉・室町時代頃の城跡分布は、八割方を占めています。

このたび、大光院所蔵の曼荼羅が開帳されます。600年前の織と色彩と構図は、わざわざ出かけて見るに値するものです。

大光院を出発点に、例えば「上川名貝塚」周辺で、貝殻を手に入れたら、7,000年前の過去に引き戻されるかもしれません。

## 町内文化財

柴田町文化財保護委員長  
木村邦雄さん

# まちかど NEWS



生柚子の販売には、行列ができました

来場者 約1,200人

## 見て・食べて・飛ばした しばた柚子フェア

町特産品の雨乞地区の柚子を紹介する「第3回しばた柚子フェア」が11月22日(土)、太陽の村で開催され、生柚子の販売や柚子料理の紹介と試食があり、来場者は、柚子の香りと味を楽しんでいました。今年の柚子は、収穫量が少ないものの、肉厚で香り良く育ちました。西船迫地区の前田千絵子さんは「料理などで無駄なく使いたいです。食べるのがとても楽しみです」と話されました。



柚子の種飛ばし大会で、一生懸命に種を飛ばす参加者  
(最高記録は、59歳の方で11・5m)



消防はしご車による救出訓練と、見守る参加者

## 防災の意識高く 北船岡町内会が防災訓練

11月16日(日)、北船岡町内会(第29B行政区)が、防災訓練を実施し、参加者は消火方法や救命方法などを習得しました。同地区には、10階建てと8階建ての町営住宅があるため、消防はしご車による救出訓練も行われました。参加した日下功さんは「私たちの町内会では『継続は力なり』をキャッチフレーズに、毎年訓練している。参加者も多く、防災意識は高いです」と話されました。

## 此木田産新そば粉 100%使用 ~新そばまつり~

11月15日(土)、16日(日)に、農村レストラン縄文の幸で「第15回しばた新そばまつり」が開催されました。両日とも限定100食の手打ち十割そばが用意され、会場は、そばの香りで包まれていました。



新そばを堪能するみなさん

広 告

# 大人気 冬を彩るシクラメン

NEWS

シクラメンの展示即売会が、11月28日(金)から30日(日)まで四日市場地区の斎藤園芸で、12月6日(土)、7日(日)に柴田町観光物産交流館で開催されました。斎藤園芸では、観賞用のほかに贈答用として購入された方も多くいました。槻木地区の遠藤ツヤ子さんは「息子に連れてきてもらいました。素敵なシクラメンを見ていると、気持ちが明るくなります」と笑顔で花を選んでいました。

柴田鉢花研究会が丹精込めたシクラメン



# 心も体もわくわく元気 介護予防推進大会

NEWS

11月29日(土)、槻木生涯学習センターで、第8回柴田町介護予防推進大会が開催されました。「明るく、楽しく始めましょう」と実行委員長の大沼博子さんの声で始まり、日頃から介護予防活動に取り組んでいる団体の発表が行われました。大沼さんの所属するわくわく元気応援クラブは、平均年齢が67歳で、介護予防のための地域活動を積極的に展開。昨年9月に、内閣府から表彰されました。

推進大会で玄米タンベル体操を披露する山元町と柴田町の男性グループ



孫10人、ひ孫7人に恵まれた幸子さん

# 祝 100歳 これからもご自愛ください

大正3年11月24日、山形県生まれの香澤幸子さんが、ご家族に祝福されながら、100歳の誕生日を迎えました。約20年間、70歳代後半まで、自宅で生花の教室を続けていた幸子さんは、町長からのお祝いを笑顔で受け取ると「ありがとうございます」とうれしそうに話されました。健康法は、りんご、牛乳、かんてんのデザートを欠かさず食べることだそうです。



安達博子先生の指導を受け、体を動かす参加者

# 健康保持はラジオ体操で

ラジオ体操で健康を保つことを目的とした町民ラジオ体操のつどいが、11月29日(土)、船岡体育館で開催されました。参加した74人は、全国ラジオ体操連盟1級ラジオ体操指導士による指導のもと、楽しく汗を流しました。「いつでも、どこでも、誰にでもできるラジオ体操で、健康づくりをしましょう」と話す船岡地区の今野宏さんは、同指導士で、東北地方ラジオ体操連盟会長も務めています。

広告

広告

# 朝の読書大賞 船岡中学校

NEWS

船岡中学校が、昨年10月、公益財団法人高橋松之助記念顕彰財団から「朝の読書大賞」を受賞しました。「みんなでやる」「毎日やる」「好きな本でよい」「ただ読むだけ」を朝の読書四原則として取り組み、生徒の学習姿勢を育てていることなどが評価されました。1年生の佐々木杏葉さんは「読んでいると場面が想像できて、自分の世界に入ることができると読むことの楽しさを話してくれました。」



毎朝10分間の読書の様子  
※今回、中学校の受賞は、全国で船岡中学校のみ



菅原里恵さん(右)と賞状を持つ羽叶ちゃん(左)

## 親子で虫歯ゼロ表彰 全身の健康は、歯の健康から

日常生活の中で心身の健康づくりに取り組む親子を表彰する「宮城県歯つらつファミリーコンクール」(宮城県、一般社団法人宮城県歯科医師会主催)で、西住地区の菅原里恵さん・羽叶ちゃん親子が宮城県知事賞と最優秀賞を受賞しました。里恵さんは、幼稚園で歯磨きの楽しさを覚えた羽叶ちゃんと、1日3回の仕上げ磨きを行っています。定期的な歯科検診とフッ素塗布は欠かせないそうです。

## いきいき元気輝いて シルバーフェスタ開催

NEWS

11月15日(土)、船迫公民館、柴田町シルバー人材センターで「シルバーフェスタ2014」が開催され、活動紹介や作品展示、刃物研ぎなどの実演が行われました。船迫小学校5年生の林心優さんは「おじいちゃんが多いまつりと思いましたが、子どもの遊び場も用意しており、楽しめました」と話してくれました。※全国にあるシルバー人材センターの愛称は「生き生きセンター」です。



網戸張りを体験する参加者



「入間田のマツケンこと平間守衛さん(西組司会の滝澤虎雄さん・談)」

## のど自慢が東西に分かれ合戦

NEWS

11月30日(日)、槻木生涯学習センターで第2回柴田町東西対抗チャリティー歌祭が開催、約60組の出場者の歌声で満席の会場が大いに盛り上がりました。結果は東組(船岡地域)勝利。出場した槻木地区の高橋郁子さんは「歌で町を盛り上げる、とても良いイベント」と感想を話されました。約3万円が町社会福祉協議会へ寄附されたこのイベントは、まちづくり提案制度で採択されたものです。

広告

広告





## 「食事バランスガイド」で自分の食生活を確認してみましょう

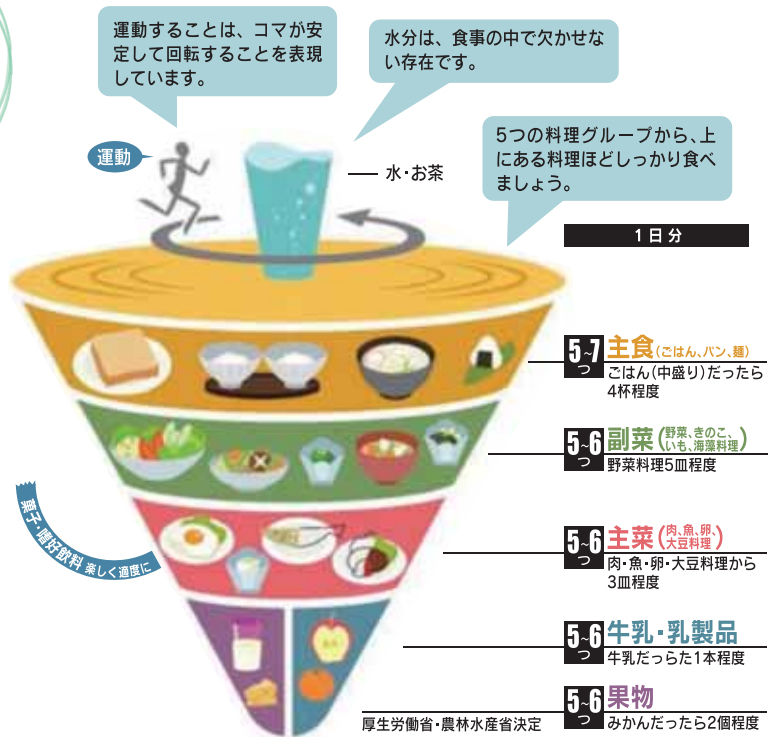
「食事バランスガイド」は1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいのか、食事の望ましい組み合わせとおおよその量を「コマ」のイラストで示したものです。

健康的な食生活は、バランスよく食べることから始まります。主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物の5つの料理区分の食品を上手に組み合わせましょう。

朝ごはんを食べない、野菜不足、お菓子の食べすぎなど、過不足が起こるとコマが傾きます。バランスよく食べて運動し、コマが安定して回るように心がけましょう。



自分たちで苦労して作ったお米を、おいしくいただきました



## 各小学校での食育の取組を紹介します

各小学校では、児童自ら田植え、稲刈りをして、働く喜びや収穫の喜びを体験する「学習田事業」に取り組み、秋には収穫したお米をおいしくいただいています。

12月5日(金)、槻木小学校では、5年生の親子行事として、収穫したお米を炊き、食への感謝をしながらみんなで楽しく食べました。

# 広 告

# 第3回柴田町行政区対抗玉入れ大会

開催日  
11/22  
(土)

会場 船岡小学校体育館 参加者 60歳以上シニアの部 14チーム 135人  
20歳以上フリーの部 12チーム 97人

競技は、ほぼ公式ルールにより行われ、6人で構成する各行政区のチームが、1分以内に100個の玉をいかに早くかごに入れるかを競いました。

過去2回の大会で、100個の玉をすべて入れたチームはありませんでしたが、今回は、決勝戦で2つのチームが100個の玉をすべて入れました。

100個目の玉（アンカーボール）を見事に投げ入れた上名生チーム（フリーの部）の大沼昌敏さんは「アンカーボールを入れる時は緊張したけど、一発で決められた。ぜひ次回も参加したい」と玉入れ競技の楽しさを実感したようです。



行政区対抗戦による玉入れ大会は、地域の絆を強めることが目的です。みなさんの行政区でも、次回、参加してはいかがでしょうか。

結 果			
シニアの部			
順位	行政区	チーム名	入った玉数と時間
1位	12A	年輪の会	100 (52秒)
2位	17A	第17A区	99
3位	11B	上名生チーム	97
フリーの部			
順位	行政区	チーム名	入った玉数と時間
1位	11B	上名生チーム	100 (60秒)
2位	17A	第17A区Aチーム	96
3位	8	ハラマチ	84

※かごの高さはシニアの部が3.5m、フリーの部が4.12m

平成2年、北海道和寒町のイベントとして全日本玉入れ選手権がスタート。かごの直径と深さはそれぞれ44cmであり、和寒町の緯度と経度が44度、かごの高さである4.12mは、和寒町で記録された最低気温が-41.2度であることに由来している。

問 スポーツ振興室 ☎55-2030

## こうほう 文芸

### 短歌

左手で書いた孫の書はみ出ても力強さは爺の見本に  
 本船迫 森田 眞六  
 初晴にとぶ鳥の影くつきりと山茶花の影微動だにせず  
 船岡 沢田 順子  
 年開けて祝い門出のテーブルに松を飾って屠蘇を楽しむ  
 西船迫 三澤 精一

### 川柳

イヤホンも歩きスマホも赤信号  
 西船迫 安ヶ平良三  
 思い出も昔話となる八十路  
 船岡 阿部トクエ  
 温泉で上膳据膳寿命延び  
 船岡 阿部美代子  
 持久走記録を作った孫娘  
 船岡 伊藤タイ子  
 宴会でふだん見でない顔を見た  
 船岡 小林 夢子  
 マイペース気持を楽に頑張れる  
 船岡 加藤 利通  
 なんとなく言っただけ見たい恥かしい  
 船岡 利通  
 縁側に陽差しと猫と毛糸玉  
 船岡 早坂 洋子  
 木枯らしに背中押される年の暮  
 船岡 佐藤 春市  
 影法師踏みつこ遊ぶ子供達  
 船岡 鈴木 智子  
 卒寿の春せめて楽しい夢でいい  
 船岡 小野寺一彩  
 風雪を真面に受けた深い鹹  
 船岡 長尾 純子  
 酒タバコやめて人生枯れススキ  
 四日市場 坂本 一風  
 抜かれても抜き返さないいい度胸  
 四日市場 齋藤夢太郎

### 俳句

星冴ゆるはやぶさ2に謎解かせ  
 西船迫 安ヶ平奈津枝  
 初日ノ出今年は多幸祈りつつ  
 船岡 安藤 節子  
 冬構え心構えもありにけり  
 下名生 笠松ふみ子  
 雪が舞い神と出会えし出雲旅  
 西船迫 玉手みき子  
 励ましの如く雪嶺ありにけり  
 船岡 永井 堯  
 淑気かな雑草の根の深ねむり  
 小野 憲彦  
 喪の家の庭に集ひぬ寒すずめ  
 江戸 裕子  
 落葉松を峰に並べて雪が降る  
 上遠野三恵  
 獅子舞や泣く子をそつと嘸んで行く  
 鎌形 清司  
 臘梅のかをりの中の絵筆かな  
 船岡 鈴木 清子  
 放射能抱へしままに山眠る  
 鈴木 三山  
 風神の袋に満つる淑気かな  
 鈴木 幸子  
 竹林を透きて初声うすみどり  
 相馬カツオ  
 椅子ひとつ置かれ青空冴返る  
 石母田星人  
 忘年会我を忘れて七合目  
 船岡 千 舞  
 クルクルと落ち葉とステップ散歩道  
 西船迫 渡辺 晴江



# 夢空間 2015

はなちゃん  
(ペンネーム)



切り絵「冬の桜並木と蔵王連峰」  
佐藤光雄さん (西船迫四丁目)



女王の番犬 (ペンネーム)



チムTAKOS  
(ペンネーム)

あだち みう  
(姉) 安達 美羽ちゃん (4歳)  
あだち ゆうしん  
(弟) 安達 悠心ちゃん (7ヶ月)  
(槻木西)



smile kids

### ひとこと

今日も明日も たくさんたくさん  
ギュッとさせてね♪  
(父：崇次 母：寿美)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

## こども美術館



「大光院」(絵)

船迫小学校6年 <sup>いたばし</sup>板橋 <sup>あみ</sup>亜美さん



「大光院」(絵)

船迫小学校6年 <sup>さとう</sup>佐藤 <sup>みく</sup>未来さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間2015)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで1月13日(火)までご応募ください。 ※お名前や作品の読み方を記載してください。

■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

『お客様の要望に丁寧に応えたい』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



制御盤・分電盤の組立配線作業をする岡本さんと大槻さん

古川工業株式会社  
第二製造課組立係

岡本  
おかもと

歩さん(32・写真右)  
あゆみ

大槻  
おおつき

沙紀さん(20・写真左)  
さき

現在二十歳の大槻沙紀さんは、正社員としての採用は昨年の春でしたが、それまでの約一年半は同社でアルバイトとして働いていました。大槻さんは「アルバイトの時、明るく楽しいみなさんに囲まれて働くことができたので、ここに就職できたらいいなと思っています。正社員になった今は、気持ちを締め、慣れた作業も思い

船岡工業団地にある古川工業株式会社は、建物内で電力の供給を受けるために設置する配電盤をはじめ、制御盤や分電盤などの板金、塗装、組み立てを行う受配電システムメーカーです。  
岡本歩さんは、勤務9年目で組立作業を担当する中堅社員ですが、入社するまではドライバーやニッパーなどを使ったことがなかったため、

作業に慣れるまではとても辛かったそうです。先輩から教わりながら、持ち前の努力で着実に技術を習得しました。岡本さんは「お客様の注文に細かく対応し、納期に遅れず、ミスなく完成したときは、とてもうれしい」とものづくりの喜びを話します。今回インタビューの調整をした業務課の山田係長は努力家の岡本さんを「会社に欠かせない人材」と評価しています。

込みでしないように注意しています。わからないことは岡本さんや上司に教わっています」と話します。  
お客様の細かな要望にも丁寧に対応したいという岡本さんと大槻さん。インタビュー中は終始笑顔でお話してくれました。

古川工業株式会社

柴田町大字船岡字山田 1-27  
TEL 55-2252



親会社は、仙台市の古川電気工業株式会社。昭和44年に古川電気工業(株)の板金部門を独立強化させる目的のために古川工業株式会社を設立。平成21年9月に船岡電気工業株式会社の組立部門事業を引受け、板金・塗装・組立の連結生産体制となる。従業員数120名。

人口と世帯数  
(平成26年12月1日現在)



38,455人  
(前月比2人減)



19,138人  
(前月比3人増)



19,317人  
(前月比5人減)



15,191世帯  
(前月比21世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。